

丸全昭和、鹿島地区に危険物・低温倉庫を竣工

Edited By LogisticsToday On 2012/10/19



丸全昭和運輸はこのほど、茨城県神栖市の鹿島地区南海浜倉庫に危険物・定温倉庫を増設した。今月17日に竣工した。

南海浜倉庫は、危険物倉庫（第4類1-4石油類）や定温倉庫（15度）15棟からなる大規模倉庫で、全体面積は2万9770平方メートルとなる。

主に化学品・食品・一般塩・大豆・米などを取り扱い、大豆と小麦はQAI（クオリティ・アシュアランス・インターナショナル）から有機大豆取扱の認証を取得している。

■新倉庫の概要

所在地	茨城県神栖市南浜3-227
構造	鉄骨造 平屋建（15棟）
敷地面積	38,613m ² （11,681坪）
延床面積	26,328m ² （7,965坪） 普通倉庫 9,945m ² （3,009坪） 定温倉庫 10,723m ² （3,244坪）（15℃） 危険品倉庫 5,660m ² （1,712坪） （第4類第1～4石油類）
有効階高	8m
床荷重	10t/坪
設備	一般塩粉砕加工包装設備、トラックスケール（50t）、ローディングランプ 4基
備考	保税蔵置場、危険品屋外貯蔵所 2,142m ² 、野積場（融雪塩）1,300m ² ISO9001認証取得

■新倉庫の位置

[googlemap lat=" 35.889934" lng=" 140.725077" align=" undefined" width=" 440px" height=" 240px"]

zoom=" 10" type=" G_NORMAL_MAP"]茨城県神栖市南浜 3-2 2 7 [/googlemap]

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/54718>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.